

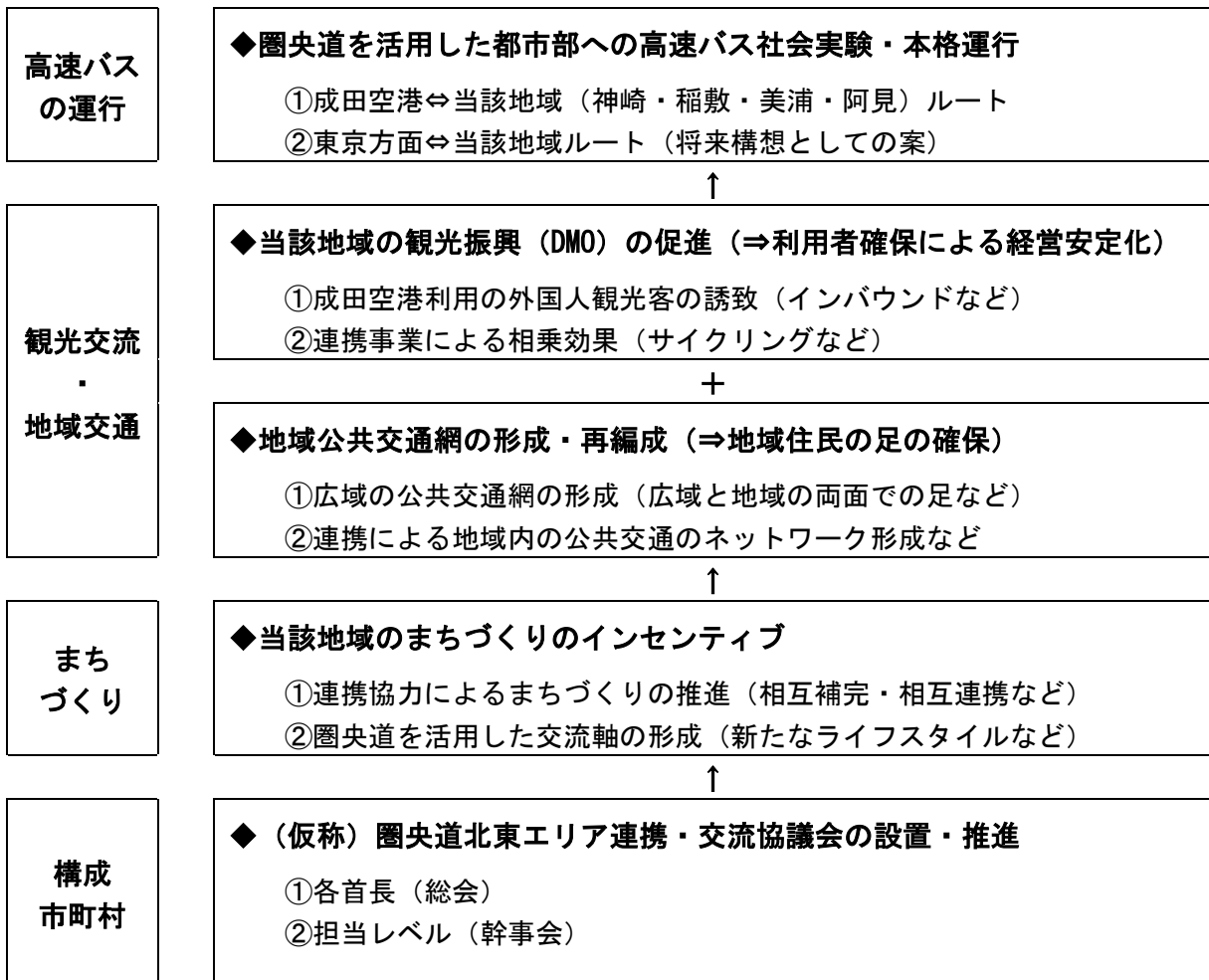
圏央道北東エリア連携・交流軸形成事業（高速バス運行社会実験）について

1. 全体フレーム

本事業は、今後の新たなまちづくりの段階に突入している状況を踏まえ、圏央道を媒体に連携・交流の広域化・活性化を目指した『圏央道連携・交流軸』の形成を目指し、圏央道の北東エリアに属する阿見町・美浦村・稲敷市・神崎町による連携・交流を積極的に推進するための「(仮称)圏央道北東エリア連携・交流協議会」を組織し、多くの分野での連携・交流による共通課題の解決のプラットフォームとし、連携によるまちづくりを推進します。

また、その第一弾として、当該地域の市町村共通の最重要課題の一つである「広域公共交通網（都市部等との接続）」の形成を目指し、圏央道を利用した高速バス運行の実現化に取り組み、これにより広域公共交通の骨格づくり・拠点づくり、さらには、成田空港のインバウンド観光をはじめ、その広域公共交通網を活用した観光振興（DMO）など、連携によるまちづくりを推進するものです。

▼取組全体のフレーム(案)



## 2. 圏央道を利用した高速バス運行“社会実験”について（案）

### ▼運行ルートと発着概要

	成田空港・東京駅	神崎町	稲敷市・美浦村	阿見町
乗降場所	新空港 IC	神崎 IC	稲敷 IC	阿見東 IC
発着環境	南ウイングの JR バス関東の既存ターミナルを利用。	発酵の里こうざき（道の駅）の既存ターミナルを利用。	稲敷 IC 周辺の市有地に仮設ターミナルを設置し利用。	あみプレミアム・アウトレットの既存ターミナルを利用。

### ▼運行ルートの距離と時間

	時間	距離	備考
●成田空港バスターミナル	0:00	0 km	
↓			
●神崎 IC：発酵の里こうざき	0:21	23 km	
↓			
●稲敷 IC：（仮）稲敷・美浦高速バス停	0:35	36 km	
↓			
●阿見東 IC：あみプレミアム・アウトレット	0:50	47 km	

### ▼運行期間・頻度等

運行期間	平成 28 年 7 月 16 日（土）～平成 29 年 1 月 15 日（日）の 184 日
運行頻度	午前 6 時（朝）～午後 9 時（夜）で 1 時間に 1 本（計 14 往復／日）
補助路線	共有する稲敷 IC から「美浦⇄稲敷」を結ぶ連絡バスの社会実験（同期間）

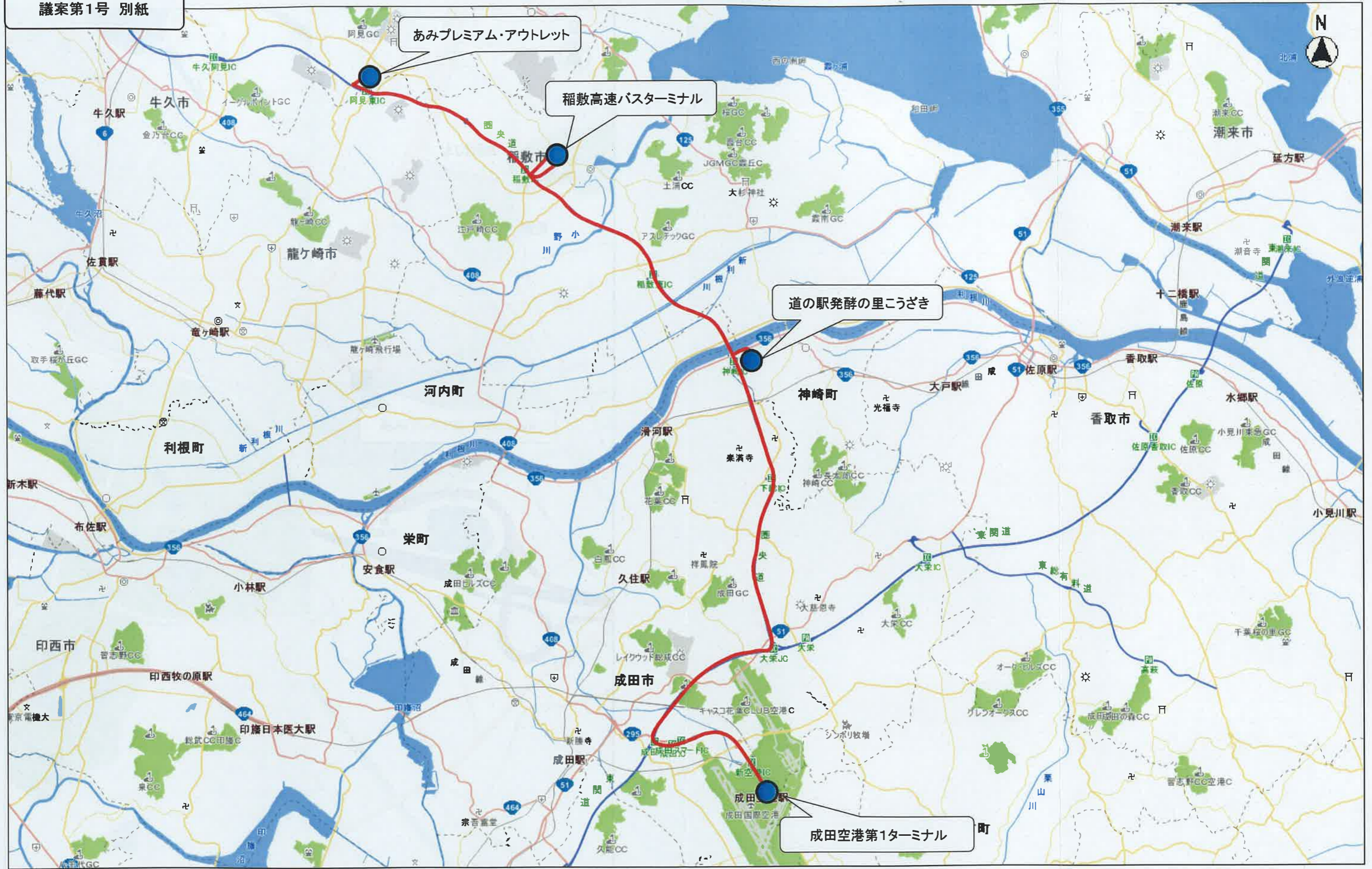
▼料金設定（予定）

			阿見東 IC
		稲敷 IC	400 円
	神崎 IC	500 円	600 円
成田空港	600 円	800 円	1,000 円

▼概算費用の算出

項目	費用計	稲敷市	阿見町	美浦村	神崎町
◆協議会の設置運営費	1,000 千円	250 千円	250 千円	250 千円	250 千円
◆高速バス負担経費 (=①-②)	80,000 千円	20,000 千円	20,000 千円	20,000 千円	20,000 千円
①高速バス運行委託費 (成田空港⇄当該地域)	100,000 千円	-	-		
②高速バス歳入調整 (収益率 20%を想定)	-20,000 千円	-	-		-
◆地域PR等の委託費	10,000 千円	2,500 千円	2,500 千円	2,500 千円	2,500 千円
◆利用分析等の委託費	10,000 千円	2,500 千円	2,500 千円	2,500 千円	2,500 千円
◆連絡交通運行の委託費 (稲敷⇒美浦のみ)	6,000 千円	3,000 千円	0 円	3,000 千円	0 円
◆ターミナル整備・運営 の経費	20,000 千円	20,000 千円	0 円	0 円	0 円
合 計	127,000 千円	48,250 千円	25,250 千円	28,250 千円	25,250 千円

# 高速バス運行ルート(全体)



縮尺 1 : 120000

5000 2500 0